

幸田町国際交流協会 設立20周年記念誌



もっと
世界を身近に
For closer ties with the world



幸田町国際交流協会

KOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION

〒444-0113 幸田町菱池字錦田3 TEL・FAX 0564-62-2424

E-mail:k-i-a@ar.wakwak.com



目 次

目 次	1
設立までのあゆみ	2
協会の概要、組織	3
会長挨拶	4
祝 辞① 愛知県国際交流協会会長 神田真秋氏	5
祝 辞② 幸田町長 大須賀一誠氏	6
各部活動紹介	
①ランゲージ部	7
②海 外 部	8
③交 流 部	9
④総 務 部	10
⑤20周年実行委員会	10
今後の目指す姿 (AIM-10)	11
編集後記	12

設立までのあゆみ

<設立の動機>

幸田町国際交流協会は、1993年4月18(日)の設立総会をもってスタートした。当時、県下近隣市町でも続々と誕生しており、幸田町はその時流にやや遅れて乗ったという状況であった。各自治体の国際交流協会の設立の動きに一層拍車をかけたのが、1987年に公布(指導)された、自治大臣官房企画室の指針「地方公共団体における国際交流の在り方に関する指針」であった。この通知が出た背景は、国際社会の動向からの必要性のほかに、日本の各地域では、当時民間団体または同志による「国際交流団体」が数多く誕生しており、それぞれの思惑のもとに、企画され運営されていた。それを、出来ることなら各自治体が統括し(職員の養成を進めながら)自治体内で「国際交流協会」を生み出していくべきだ、そして更に、ゆくゆくはその協会を民間の自主運営に移行して行く、これを理想とするというのが指針の趣旨であった。

この流れを受けて時の町長(大浦氏)が有識者、友人に働きかけて「設立準備会」の設置を促された。但しここで他の自治体と異なったのは、「先ず自治体で立ち上げ→民間移管」ではなく、幸田町は流れを先取りして、「民間ベースでの立ち上げ+町の支援」の方向で行こうというものであった。

活動のスローガン「世界をもっと身近に」も、この時点で作った。

これは、我々の取り組み姿勢と意気込みを、活字にしたものである。

<設立準備ワーク>

- * 1991. 11~1992. 08 県下の状況調査、見学、資料入手
- * 1992. 09~1993. 04 設立準備会開催(4回)
- * 1993. 04 設立総会開催

<広報活動>

- * 中日新聞社 1993. 04. 15 直前告知
- * 「商工案内」 1993. 03. 01 //
- * KIA NEWS 創刊号 1993. 06. 09 総会報告

1993(H5).6.9 KIA NEWS創刊号

KIA NEWS
KOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION
幸田町国際交流協会
= 創刊号 =



幸田町国際交流協会
設立にあたってのご挨拶
会長 内田 治

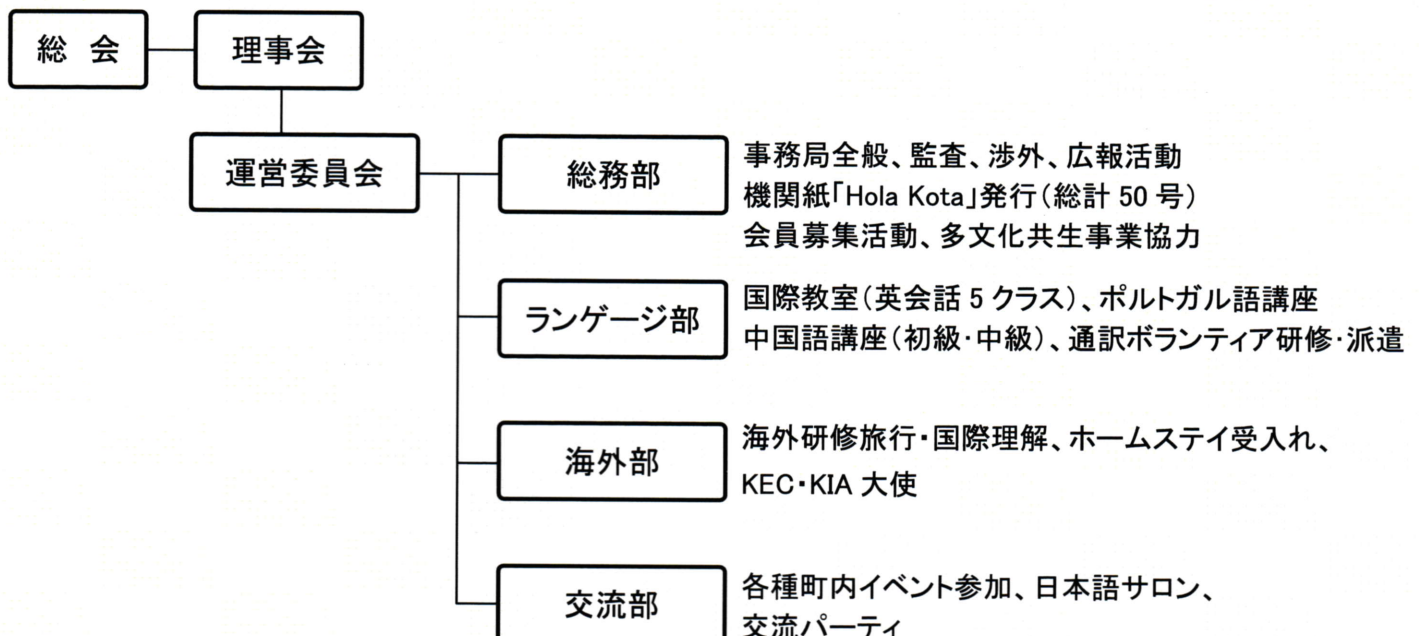
「幸田町国際交流協会」の設立総会を、4月18日無事終了することが出来ました。300名を超える会員の参加をいただき、総会には180名以上の方々の出席により盛大な設立総会を開催することが出来ました。これもひとえに、調査の段階から数えまして1年半、第1回の設立準備委員会が開催されてから7ヶ月に及ぶ皆様方の熱心な活動に支えられたもので、この間の皆様方のご協力に対し心から敬意と感謝の気持ちを表明させていただきます。

国際交流協会の活動は、ご参加いただいた会員の皆様方お一人一人の積極的な支援が支えでございまして。私も微力ながら皆様のご支援をいただきまして最大限の努力をさせていただきます。協会の強化発展のため、今後とも皆様方のご協力をお願い致します。

協会の概要

1. 設 立 平成5年(1993年)4月18日
2. 目指す目標
 - ①国際感覚を持つ人づくり
 - ②国際コミュニケーションの機会づくり
 - ③外国の人にも気配りする町づくり
3. 活動内容
 - (1)事務局の運営
 - ・会員募集と動向把握
 - ・各種ボランティアの組織化
 - ・受託事業
 - ・IT プログラム
 - ・会計、庶務、渉外
 - ・情報収集 等
 - (2)広報活動
 - ・機関紙の発行
 - ・イベント取材と告知 等
 - (3)交流活動
 - ・外国の人達との交流イベント企画
 - ホームステイの受入れ
 - ・各種団体(国内、国外)との交流 等
 - (4)学習、研修事業
 - ・語学教室の開講(英語、ポルトガル語、日本語、中国語等)
 - ・カントリープレゼンテーション
 - ・講演会、研修会の開催、参加 等
 - (5)共催事業
 - ・町、各種団体との共催事業(彦左まつり、夏まつりなど)
 - ・各種救済、支援(対海外)
 - ・各種フレンドシップ事業 等

組 織



会長挨拶

幸田町国際交流協会

会長 豊 永 和 範



平素より、幸田町国際交流協会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

当協会は、1993年に、「世界をもっと身近に」とのスローガンのもとに誕生致しました。以降20年間、多くの個人会員様、企業会員様、団体会員様のご理解とご支援を賜りまして、町民主導の国際交流事業を推進する母体として、多くの町民の皆様のご参加を得て、地域をあげて、「国際感覚あふれる人づくり・町づくり」を目指した様々な活動に取り組んでまいりました。

様々な機会に、大勢の関係者の皆様より、ご支援を頂きながら今日に至りましたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

この20周年という記念すべき年に、改めて原点に立ち帰り、「国際感覚を持つ人づくり」「国際コミュニケーションの機会づくり」「外国の人にも気配りする町づくり」という3つの基本方針のもと、まさに「心と心が触れ合うさまざまな活動」を通じて、これから10年、20年後もなくてはならない存在として輝き続けられるよう、この節目の年を有意義なものにしたいと考えております。

国際交流は、間違いなく人生を豊かにし、人をたくましく成長させます。また、世界のさまざまな国々とのフレンドシップに色々な形で関わりを持つことで、幸田町としてのアイデンティティや、プレゼンスを高めることにもつながります。

こういった草の根の活動を通じて、幸田町の国際交流活動をより盛り上げると共に当協会の充実と活性化を図って行くためにも、役員一同、そしてご支援頂ける皆様のご協力を得て、しっかり取り組んでまいります。

町民の皆様におかれましては、引き続きの積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます。

祝 辞

愛知県国際交流協会

会長 神 田 真 秋 氏



幸田町国際交流協会が創立 20 周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げますとともに、長年にわたるご功績に敬意を表します。

幸田町国際交流協会は 1993 年 4 月に創立されて以来、町民の海外派遣や海外からの青年受入れ事業を継続して行ってこられました。特に、2005 年に開催されました愛知万博の一市町村一国フレンドシップ事業のパートナー国であるカンボジア王国とは、今なお、草の根レベルの交流を深めておられます。奇しくも 1993 年は、カンボジアが第 1 回の総選挙を行って民主化への道を歩き始めた年でもあり、そうした意味でも幸田町とカンボジアのつながりを感じずにはいられません。同時に、世界の国々の関係が複雑になりつつある昨今、そうした国際交流活動の積み重ね、つながりがいかに大切であるか、一昨年の中東大震災の際に世界中から寄せられた支援をみましても実感できるところでございます。

さらに、20 年前と比べますと、愛知県に在住されている外国人の数は 2 倍近くに増えており、今や地域に住む外国人と一緒にまちづくりを進めていく時代になりました。「多様性」が地域の強みとなるようなまちづくりを展開することが、私たち日本人にとっても、そして将来を担う子供たちにとっても、大切になっております。

そうした状況の中、世界とのつながりを築き、多様な人々が暮らしやすい地域を創っていく拠点として、国際交流協会が果たす役割はますます重要になっていくでしょう。現在、愛知県では、私ども愛知県国際交流協会を含め 34 の国際交流協会がお互いに連携しながら、国際交流、国際協力、多文化共生の地域づくりに尽力していますが、中でも幸田町国際交流協会は創立当初から、ボランティアとの協働によって運営されており、まさに町民による主体的な国際交流協会として、今後もさらに大きな力を発揮していただければと期待しているところでございます。

最後に、この創立 20 周年を機に、幸田町国際交流協会のますますのご発展と皆さまのさらなるご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いのことばとさせていただきます。

祝 辞

幸田町長

大 須 賀 一 誠 氏



幸田町国際交流協会が創立 20 周年を迎えられましたことに、心よりお祝い申し上げます。また、貴協会が国際交流協会として 1993 年に創立されて以来、様々な交流活動を展開され、ここに創立 20 周年記念誌を発行されるに当たり、改めて皆様の今日までのご活躍に心より敬意を表する次第でございます。

さて、幸田町国際交流協会が創立されました 1993 年 4 月は、幸田町の外国人登録者数は 254 名でございました。その後、登録者数は増加を続け、2008 年には 1013 名にも上りました。現在では、昨今の経済情勢により減少傾向にあるものの、約 700 名もの外国人が幸田町に居住されています。こうした法改正や景気変動等の社会情勢の変化による外国人登録者数の増加に対応するため、当時いち早く地域における国際交流の必要性を認識し、協会創立にご尽力されとともに創立以降今日まで、日本語サロンやボランティア育成、各種イベントを通じ、約 40 か国、述べ 1000 名以上の外国人の方々と交流してこられました。また、愛知万博の一国一市町村フレンドシップ事業を契機とし、フレンドシップ提携を調印いたしましたカンボジア王国シェムリアップ州とも、調印前から今日まで継続的な交流を続けていただいています。こうした多種多様な活動を通じ、幸田町における国際交流の礎を築いてこられましたことに、心より感謝申し上げます。

幸田町としても、町全体が「世界をもっと身近に」感じ、外国人の方々にも住みやすい社会を目指し、協働して「多文化共生」のまちづくりを推進していきたいと思っています。

最後に、創立 20 周年を一つの節目として、今後も、幸田町国際交流協会が、さらなる飛躍を遂げられますことを祈念するとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

各部活動紹介 ①ランゲージ部

●活動内容

国際教室（英会話 5 クラス）、ポルトガル語講座、
中国語講座（初級・中級）、通訳ボランティア研修・派遣



国際教室(小学 1、2 年クラス)



ポルトガル語講座



中国語講座(初級クラス)



中国語講座(中級クラス)



通訳ボランティア研修会(着付け教室)



通訳ボランティア研修会(茶道教室)



通訳ボランティア研修会(英語落語)



通訳ボランティア研修会(英語討論会)

各部活動紹介 ②海外部

●活動内容

海外研修旅行・国際理解、ホームステイ受け入れ、
KEC・KIA 大使

※KEC: KIA Exposition Committee



ホストファミリー交流会



ホームステイ受け入れ(カンボジア青年)



カンボジア青年夏まつり招待



カンボジア青年招聘事業



スクールビジット



カンボジア訪問友好事業



2005 愛知万博に参加



研修旅行

各部活動紹介 ③交流部

●活動内容

各種町内イベント参加、日本語サロン、交流パーティ



日本語ボランティア養成講座
(町から委託を受け講師派遣)



KIA総会 2部 日本語スピーチコンテスト



彦左まつり



夏まつり(カンボジア青年とホストファミリー)



外国籍住民と語る会」(町主催の支援)



日本語サロンの外国人生徒と文化祭見学



KIA年末交流パーティ

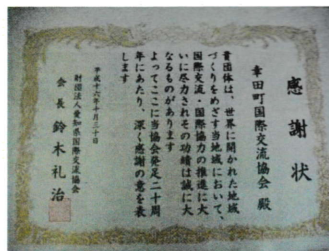


日本語サロン(日本語教室)(通年)

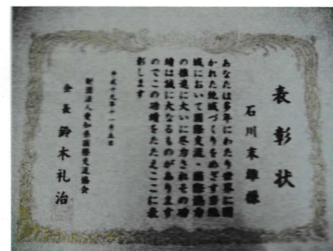
各部活動紹介 ④総務部

●活動内容

事務局全般、監査、渉外
機関紙「Hola Kota」発行（総計 50 号）
広報活動
会員募集活動
多文化共生事業協力など

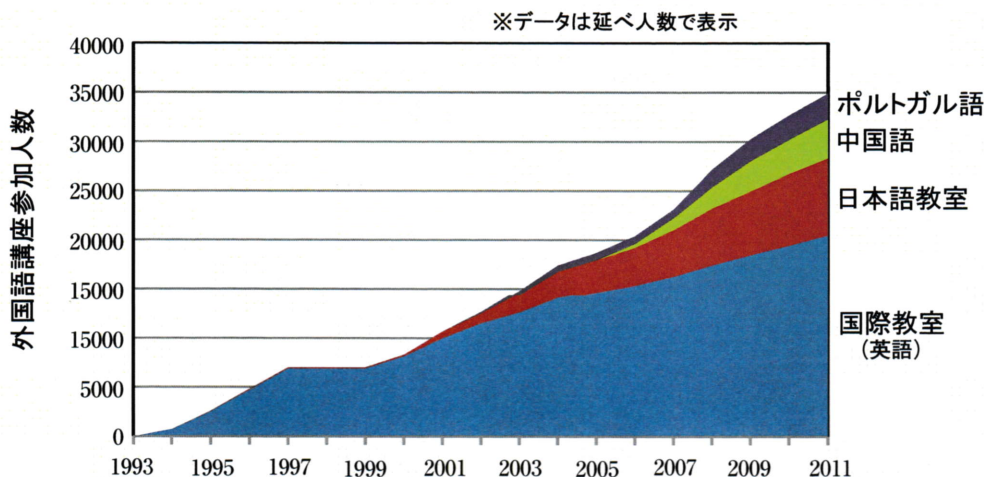


H16.10.30 感謝状 (KIA)



H19.11.5 個人表彰(石川会長代行)

●年度別外国語講座参加者人数



●歴代 KIA 会長様

初代	内田 治氏
第2代	菅野二二夫氏
第3代	川崎 秀雄氏
第4代	浜崎 暢洋氏
第5代	藤岡 洋一氏
第6代	豊永 和範氏

各部活動紹介 ⑤20 周年実行委員会

2012 20 年の歩み多言語訳
3月 「日本語版」, 「英語版」を発行

2012 記念式典
9/30 永年にわたって KIA に貢献して
(日) いただいた企業・個人に感謝状を贈呈

講演会

講師 愛知県国際交流協会会長 神田真秋氏
演題「世界を知り、日本を知る 一万博の思い出と共に」

2013 記念誌
1月 KIA 設立から現在までの活動、
将来のビジョンを冊子にして発行

2013 町民国際交流パーティ
1/27 場所 町民会館あじさいホール
(日)

2013 海外研修旅行 (エジプト・トルコ)
11月



(15 周年の国際交流パーティの写真)

今後の目指す姿 (AIM-10)

「エイムーテン」これはKIAの10年後に向けての新しいスローガンです。次のようなビジョンをもって今後の活動に取り組んでいきたいと思っています。

"AIM- 10" is KIA's new slogan for the next 10 years. We would like to work on our future activities with the vision below.

国内活動中心→「国内、海外2極活動」の展開へ!
From focusing on domestic activities to the development of "Acting at home and abroad!"



国内活動
Domestic Activities

KIA活動に国境はありません
There are no borders for KIA activities.



編集後記



20周年事業実行委員会

1993年の当協会設立以来、多くの個人会員様、企業会員様、団体会員様のご理解とご支援を賜り、本年、設立20周年を迎えることが出来ました。

今回、20周年記念事業を、企画し、実行している中で、私たちが改めて感じたことは、当協会のスローガン「世界をもっと身近に」と、基本方針「国際感覚を持つ人づくり」「国際コミュニケーションの機会づくり」「外国の人にも気配りする町づくり」のもと、当協会の充実と活性化を図りながら、設立30年、40年を迎えられるよう、今後も国際交流活動に継続して取り組んでいかねばならないという思いを新たにしました。

例えば、現在、いくつかの企業で英語を公用語に採用したり、外国籍の方と国内でも海外でも同じ職場で仕事をする機会が増えています。将来はそれが当たり前になり、これまで以上に、国際交流活動の意義が重要なものになるでしょう。このような外国語の習得の意義はもちろんのこと、他にも国際交流による異文化とのふれあいと理解が、間違いなく人生を豊かにし、人をたくましく成長させてくれ、幸田町に更なる活力をもたらすことは間違いありません。KIAは、自らの活動に自信を持って、更に実績を積み上げていかなければならないと考えています。





発行 2013年1月



K.I.A. KOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION
幸田町国際交流協会

愛知県額田郡幸田町菱池字錦田3
 E-mail: k-i-a@ar.wakwak.com

3 Nishikida Hishiike Kota Aichi
 TEL.0564-62-2424(火・水・金13:00~16:00)